

# 公益大ニュース No.10

02	—	04	新任教員座談会，	05	—						
06	研	究	活	動，	07	教	育	活	動，	08	—
—	09	お	答	え	し	ま	す，	10	教	員	の
新	著，	10	—	11	地	域	・	学	生	活	動





**参加者**（前列左から）

植田和憲 准教授（メディア情報コース）／白畑真由美 准教授（地域福祉コース）  
張 紅 助教（観光・まちづくりコース）／大山慎一 特任教授（国際教養コース）

**聞き手**（後列左から）

高橋 諒（政策コース3年）／兵藤弥生（観光・まちづくりコース3年）

——きょうは2023年春、本学に新たに赴任された先生方にお集まりいただきました。まず着任までのご自身の歩みをお話いただけますでしょうか。

**植田** 最初の大学院は工学系でした。現在の研究の基礎となる情報ネットワークの研究に取り組みました。次に経済学や法学の先生がいる大学院に助手として入り、ネットワーク管理や学内の各部署との調整なども経験しました。その後、再び工学系の大学に移り、教員生活が本格的にスタートしました。



**うえだ・かずのり**  
大阪大院情報科学研究科博士後期課程修了。高知工科大講師を経て現職。佐賀県出身

**大山** 出身は新庄市です。今年3月までの38年間、県立高校の教員として歩んできました。

鶴岡工業高などで教えたあと、県教育センター、県立博物館に勤務しました。県立博物館では副館長として、日本で最も背の高い土偶である「国宝・縄文の女神」など収蔵物の保存、展示にかかわりました。その後、村山産業、酒田東の両校の校長を務めました。公益大と酒田東高が連携協定を結んでいるご縁もあり、英語の教員としてお世話になることになりました。

**白畑** 出身地でもある酒田市役所で37年間、看護師から始めて保健師、精神保健福祉士、社会福祉士として相談援助職に従事してきました。最後は市の健康福祉部長として退職しましたが、COVID-19の感染拡大の時期で、ワクチン接種や予防対策などで苦心しました。福祉の現場や女性管理職の経験を次代を担う学生さんに伝えたいと願っています。

**張** 出身地は中国陝西省の銅川市です。西安の北にある小さな都市です。大学時代に日本語を勉強し、1年間、通訳として働いたのち、日本に来ました。山形大学で歴史的街並み保

全といういまの研究テーマに出会うのですが、私の出身地が豊かな歴史的景観を持っている地域なので、そこが原点だと思っています。その後、筑波大学に移って2023年の3月までいましたが、ご縁があってまた山形県に戻ってきました。



**ちょう・こう ZHANG Hong**  
筑波大院生命環境科学研究科地球環境科学専攻修了。博士(理学)。中国出身

——公益大にいらして、どのような印象を持たれましたか。

**張** 自然環境が豊かな大学ですね。それと小規模だからこそ学生と教員が向き合えると思います。地域との繋

がり強く、学生が外に飛び出せるカリキュラムがありますし、地域の人たちも学生を見



**しらはた・まゆみ**  
東北福祉大総合福祉学部卒。酒田市健康福祉部長を経て現職。山形県出身

守ってくれていると思います。

**白畑** 先生方はもちろんですが、学生一人ひとりも公益の精神を根っこに持っていると感じます。

地域と大学が連携して、まちづくりに貢献でき

ている大学だと思います。

**大山** 人のぬくもりが感じられる大学という印象です。廊下で学生とすれ違うと、目と目を合わせて挨拶をしてくれます。中学、高校では割と普通なことですが、大学でも互いに挨拶し合うのだなと少し驚き、そして嬉しく、温かい気持ちになりました。

**植田** 先生方の専門分野が非常に幅広いということです。多彩な授業が提供されていて、学生が自分の興味に合わせて科目を選択できるのがよいところだと思います。公益大には、

まだまだ魅力が埋まっていると思うので、うまくアピールすれば、さらに大学のイメージアップができると思います。

——ご自身の学生時代はどのように過ごされたかお聞かせください。

**植田** 学部時代はゴルフ部に入っていました。ゴルフはボールを遠くに飛ばすことに目が行きがちですが、最終的にはボールをカップに入れるところが一番大事です。飛ばすのは自信がなかったので、転がす方をがんばっていました。週末はゴルフ場でアルバイトをして、平日は練習に明け暮れました。大学院では一転、研究に打ち込むような生活になりました。

**大山** 大学時代を過ごした1980年代はバブル

前夜で、世の中が上へ上へと駆け上がっていきこうとする時代でした。文学部英文科だったので、周りはおしゃれな女性が多かったのですが、私は大学



**おおやま・しんいち**  
放送大院文化科学研究科修士課程修了。酒田東高校長などを経て現職。山形県出身

とアルバイト先を行ったり来たりするだけの地味な学生でした。3年の夏休みに語学留学のプログラムがあり、米国の姉妹大学に2か月派遣されました。米国各地を研修で回ったことが契機となり、英語の教員になりました。その留学プログラムの男性のリーダーだった私は、女性のリーダーと協力する場面が多く、それが縁で卒業後に結婚しました。

**白畑** お二方と違い、私は看護学校に3年、保健師養成校に1年入っていました。看護学校は山形市にあったので周囲が山に囲まれており、広い庄内平野で育った私は息苦しさを感じたこともありました。その後、働きながら通信制の大学に通って、現在は公益大の大学院生でもあります。「発達支援」を研究課題としながらじっくりと取り組みたいと思っています。

張 高校までは勉強ばかりでした。2011年、中国全体で900万人以上が競う受験戦争を経て、大学に入りました。入学後は自由な生活を楽しめるようになり、旅行にもよく行っていました。お金がなくて格安航空会社（LCC）すら乗れず、もっぱら列車を使っていました。中国の歴史的街並みが残る地域を訪ねましたが、いままで行った中で一番好きなところは、お茶で有名な安徽省の南部にある徽州古城です。

——本学の学生に望むことや伝えたいことなどのメッセージをお願いします。

張 自分の一番好きなことを見つけてほしいです。好きなことなら疲れないし、さらに良くしようという気持ち湧いてくるので一番大事だと思います。それと、悩みは一人で抱え込まずに周りに助けを求めてください。悩みは話さなければ伝わらないものです。これは外国人として日本で7年間過ごしてきて思うことです。最後に好きなことを実現するためには目標と計画を立てて、その日その日で何をしたらいいのかを考えながら実行してほしいと思います。

白畑 確かにそうですね。だれもが好きなことを持っているはずで、それを大事にしてほしいです。一方で苦手なことや嫌いなこともあります。苦手であっても、あえて周囲の人に話してみれば、多くの人の知恵をもらう

張／好きなことに打ち込んで  
植田／自由さを生かして挑戦を  
大山／大転換期に生きる決意を  
白畑／一生の親友を見つける

ことで、少しずつできるようになるかもしれません。それと何と言っても友達を大事にすることでしょうか。多くなくてもよいし、1人か2人であっても親友と呼べる存在は一生の財産になります。そんな友人をこの大学にいる間に見つけてほしいと思います。

大山 ChatGPTのような生成AIの登場で私たちの生活は激変しつつあります。学ぶことの意味が根底から問い直されるでしょう。AIが外国語を翻訳して自然な文章を作ってくれるのなら、私たちは果たして英語を学ぶ必要があるのか、という疑問も提示されています。社会全体の大転換期にあって、皆さんは社会に出るまでに何を学び身に付けていけばいいのかを真剣に考えてほしいし、教員もともに考えていきたいと思っています。

植田 自由とのよい付き合い方を見つけてほしいと思います。大学生は小中高のときより自由な立場ですが、自由であるがゆえに陥りやすい誤りもあります。自由さを生かして様々なことに挑戦し、将来の成功や幸せをつかむこともできる一方で、漫然と過ごしてしまい悪い方向に行く可能性もあります。皆さんはいま、何を学ぶのかを自分で決めることができます。そうした環境を生かして学生時代に自分の世界を広げ、行動できるかどうかは、これからの人生を大きく左右することになるでしょう。



たかはし・まこと  
山形県立新庄北高校出身。「地元を元気づけられる人材になりたい」

大学の地域貢献など、これまで普通のように考えていました。自分が恵まれていることに気づき、さらに努力しようという気持ちになりました。

聞き手から



新しく来られた先生方のお話を聞いて、地元よさを再認識しました。庄内を盛り上げる一員になりたいという思いが強まりました。

ひょうどう・やよい  
酒田光陵高校出身。「公務員を目指して勉強中です」

# ベストアワードに玉井教授 ベストティーチャーは阿部教授、渡辺准教授

本学は優れた研究成果を上げた教員を表彰する2022年度の「ベストアワード」に玉井雅隆教授を、教育実践に顕著な成果を上げた教員である「ベストティーチャー」に阿部公一教授と渡辺暁雄准教授を選びました。3月27日、神田直弥学長らが出席し学内で授賞式を開きました＝下写真。

## 受賞のことは **終わりのない道を行く** 教授 玉井 雅隆

振り返ってみれば社会人を辞めて神戸大学の門を再び叩いた時、私はローマ法の勉強をする予定でした。しかし、たまたま受講した授業が日本での欧州安全保障協力機構(OSCE)研究の第一人者の先生で大変面白く、そこから私の研究が始まりました。

それから約20年。かなり飽きっぽい私が、同じ研究テーマであるOSCEの研究を続けてきました。近年では年に1本以上の論文を学会誌に掲載し、2014年には『CSCE少数民族高等弁務官と平和創造』、2021年3月に2冊目となる自著『欧州安全保障協力機構(OSCE)の多角的分析―「ウィーン」の東と「ウィーン」の西の相克』を出版しました。

決して華やかではないが、着実に研究を進めていく。日本における数少ないOSCE研究者として、最近では学会から登壇を求められた



前列左から玉井教授、阿部教授、渡辺准教授

り、メディアに取材されたりするなど、世界的にも認められてきているのかな、と思います。

研究とは「學問之道無他、求其放心而已矣。」(孟子)であり、終わりが無い深淵なる道だろうと思います。今後とも慢心することなく、精進を重ねていきたいと思ひます。

## アクティブ・ラーニングを実践 教授 阿部 公一

大学教員の仕事は研究・教育・学内業務・社会貢献と沢山ありますが、特に教育を重視してきたことから、この度ベストティーチャー賞を頂きまして大変うれしく思います。基礎演習b(写真)では、学生に「公的」な年金の本質や必要性を理解してもらうために、ポスター教材を用いたアクティブ・ラーニング手法による教育を実践してきました。また、専門演習(ゼミ)やプロジェ



クト型応用演習では、若年者に対する国民年金の保険料未納や滞納問題を地域共通の社会的課題として捉え、その課題解決策の一手法として、年金広報教育動画を学生と作成しました。

厚生労働省主催の「令和の年金広報コンテスト」の動画部門に応募したところ、本学学生チームが4回連続して厚生労働大臣賞を受賞しました。他に、「国民年金すごろく」を取り入れた年金教育プログラムも開発し、高校生に対してゼミ生と出張講義も行いました。年金教育の実践は、卒業後の就職先として、日本年金機構に進む人材育成にも繋がります。これまでに14名のゼミ生が就職し、本年度は5名のゼミ生が内々定を得ています。

ベストティーチャー  
受賞のことば

## 教員自身も楽しく

准教授 渡辺 暁雄



基礎演習のフィールドワーク

まずご推薦下さった方、そして講義を高く評価していただいた学生の皆さんに御礼申し上げます。いわゆる教授法については、特に変わったことはしておりませんので、今回は講義に臨む際に、心がけているポイントについて話します。それは端的に言うなら「自分自身が楽しく、かつ自己満足にならない」ということ。特に担当する「社会学」や「サブカルチャー論」では日々斬新な発想や「ネタ」が生成されています。そのた

め講義内容のリニューアルは当然なのですが、．．．そもそも毎年同じような内容を講じていると、退屈してしまう。自分自身が。つまり身勝手にも、自分の楽しさのために内容を変更し、トピックを追加しているわけです。

同時に履修生は「お客様」ですので、損はさせない。全ての方に何かを持ち帰っていただきたい。そのため履修生の反応には敏感になります。自分が「学生のため」最良の方法で行っていると自負していた授業回さえも、反応次第で大幅に変えることもある。恐ろしいのは、自己の独善性に気が付かないこと。

えっ？手を加えた講義内容が、自分で面白く無かったら？それはあり得ません。講義は教員と学生とのinteractionで成り立っているのですから、学生が面白いと感じる講義は、教員も楽しいのです。

研究活動

## 漢籍研究—中国から 李客員研究員

2022年7月、協定校である中国・山東師範大学と共同で山形県内の漢籍を調査するため、本学においてマルチプロジェクト研究所「日本漢籍調査研究所」（所長、呉衛峰）が設立されました。山東師範大学外国語学院の李光貞教授は客員研究員として招聘され、今年1月に本学に到着しました。

山形県には多くの漢籍が所蔵されており、主な蔵書機関には酒田市立図書館光丘文庫、鶴岡市立図書館郷土資料館、市立米沢図書館などがあります。私が2021年から各蔵書機関との連絡を始めていたこともあり、李教授の仕事は順調に進展しています。すでに光丘文庫における調査を完了し、李教授は論文「光丘文庫における漢籍への一考察」を完成させました。



致道博物館（鶴岡市）で調査中の李光貞教授

6月以降、鶴岡の郷土資料館および致道博物館を、7月には市立米沢図書館で蔵書の調査を始めました。とくにこれまで外部へ公開されたことがなかった致道博物館の漢籍蔵書について、本研究所が調査を任せられたことは大きな収穫でした。（教授 呉衛峰）

本学は 2022 年度から本格的に海外留学を再開しています。カナダに留学した鍋倉毬恵さん、豪州に留学した高橋愛花さんに現地で学んだことを話し合ってもらいました。



鍋倉毬恵さん(国際教養コース4年)

たか。

鍋倉 はい。ルームメイトはカナダ人と中国人でした。高橋さんはホームステイでしたね。

高橋 ええ。豪州の西オーストラリア大学に今年2月中旬まで6か月間、留学しましたが、ホームステイ先から大学までは、電車とバス2本

を乗り  
継いで  
90分か  
かりま  
した。

鍋倉

英語はかなり上達したのでは。

高橋 留学前にTOEICは相当がんばったつもりでしたが、あまり役に立ちませんでした。「あなたの英語はタフ(堅い)だ」と言われ、日常会話とビジネス英語の違いを実感しました。

鍋倉 私も「あなたの英語は自然じゃない」と言われショックを受けました。日本語を頭の中で英訳してから話すのではテンポが遅いし、友人の「とりあえず口に出してみたら。説明は後で」という助言が役立ちました。

高橋 社会のあり方も違うことが多く考えさせられました。豪州はボランティア活動への参加意識が高く、私のホームステイ先でも、家庭内で作った食事を毎週、買い物かご2つ分ぐらいホームレスの支援団体に持って行きました。

鍋倉 人種の問題などを感じることはありましたか。

鍋倉 カナダのリジャイナ大学に昨年の5月から8月まで留学しました。自然が豊かなところで、ストレスなく過ごせました。

高橋 住まいは学生寮でしたか。

高橋 豪州は先住民のアボリジニがいて白人社会との共生が常に課題になっています。日本ではなかなか考えたことがなかった問題です。



高橋愛花さん(国際教養コース4年)

鍋倉 マイノリティという点では、カナダはLGBTQ(性的少数者)に対する考え方が日本とはかなり違っていました。街中で堂々と権利拡大を求める集会やパレードを見かけました。

高橋 豪州ではLGBTQを象徴するカラーとして虹色のほかに紫色があり、学校でも「あすは紫色の服を着てこよう」といった呼びかけがありました。

色の服  
を着て  
こよう」  
といっ  
た呼び  
かけが

ありました。性の多様性が自然なこととして受け止められていて、たとえば男性らしき外見の人が女性の服を着ていても誰も気に留めません。

鍋倉 交際関係でも、日本だと「彼氏、彼女はいる?」といった質問が、カナダでは「パートナーはいるの?」という聞き方になります。身近に男性同士、女性同士のカップルがいてもとくに気を遣うことなく会話しているのでとてもナチュラルです。

高橋 日本では、こうあるべきという同質性を求められる場面が多いです。外国では一人ひとりの生き方、考え方があるということを尊重する社会だと感じました。

鍋倉 やはり海外には絶対行ったほうがいい。とくに多文化社会に触れてほしいですね。

### 留学から戻って

**カナダ:多文化社会、少数者も堂々と(鍋倉)**

**豪州:それぞれの生き方を尊重する社会(高橋)**

# お答えします

素朴な疑問から地球規模の難題まで——  
あらゆる「？」に本学教員がお答えします。

**Q.** 成年年齢が18歳に。注意すべき点は？

**A.** 「契約」はよく考えて。周りの人にも相談を



回答者：教授 森元 拓

2022年4月より民法上の成年年齢がこれまでの20歳から18歳に引き下げられました。

まず、未成年者と成年者とでは何が違うの

でしょうか。未成年者の場合、親権者の同意を得ずに行なった契約は、事後に取り消すことができます。つまり、未成年者が勝手にした契約は、親が不適切であると判断した場合、あとで取り消すことができるのです。ところが、成年者が締結した契約は、取り消すことができません。ここが未成年者と成年者の違いです。

つまり、大学1年生・2年生が未成年者であった頃は、悪徳業者からある程度保護することができました。ところが、成年年齢が18歳に引下げられた現在、悪徳業者の「カモ」にされた大学1年生、2年生を事後に救済することが難しくなったのです。

皆さんは、「自分は悪徳業者にカモにされるわけない」と考えるかもしれません。しかし、世間知らずの大学生を食物にしようとする業者は、世の中に多数存在します。古典

的なものは、高額な英会話やエステティックの契約です。最近では、情報商材を「ネタ」にして大学生をカモにする手法が流布しています。株式や為替商品等の投資手法の情報商材、高額収入を得るアルバイトのための研修と称した情報商材など悪徳業者の手口は、日々、巧妙になっています。情報商材の契約は一度締結すると、事後に取り消すことはほぼ不可能です。「金儲けができる」「簡単に技能を習得できる」「あとで投資分は回収できる」といったものは、まず悪徳業者であると考えて下さい。

一度、悪徳業者へお金を払い込んでしまうと、お金を取り戻すことは至難の技です。契約をするときは、自分はだまされていないか、本当にそれでよいのか、必ず一呼吸おいてください。できれば契約の前に親や周囲の人々に相談してください。

なお、訪問販売や電話勧誘などの場合はクーリングオフ（契約後の一定の期間、契約を解除できる制度）が認められる場合があります。あやしい契約をしてしまったら、すぐに相談しましょう。



成年年齢の引き下げを周知する  
法務省のパンフレット

**Q.** 歴史ドラマはどこまで史実なの？

**A.** 時代考証者が史料的根拠に基づいて意見を述べています

大河ドラマなど、歴史を題材とするドラマの場合、実は最も時代考証が難しいのは、日常生活を描いている場面です。現代の人々も同様だと思いますが、朝何時に起きて、朝食に何を食べ、家族や友人とどんな雑談をしたのか、といった、ごくありふれたことは、日記や手紙など、文字として残る記録（＝史料）には書き残されることはほとんどありません。あるいは、道を行く通行人がどんな格好をして、どんな歩き方をするのか、といったことも、いちいち記録に書き留めたりすることはないと思います。

しかし、ドラマの場面から「リアリティ」を感じ取ってもらうには、実は、こうした何気ない日常の場면을しっかりと描きたい、というのが脚本家や演出家の方たちの要望となってきます。時代考証を担当する立場として、適当な思い付きで答えることはできません。



生活・風俗の細部まで目を凝らします  
（『らんまん』の撮影セット＝筆者撮影）

るので、例えば、浮世絵や錦絵などにはどのように街を行く人々が描かれているのか、といったことや、明治以降に幕末に



回答者：教授 門松 秀樹

ついて行われた聞き取り調査や、本人の書いた自叙伝や回想録などを基に、日常生活の様子を探っていきます。

例えば、私が時代考証を担当しているNHKの連続テレビ小説『らんまん』では東京の長屋での生活などが描かれていますが、『守貞謾稿』という江戸時代後期にまとめられた生活・風俗に関する百科事典から庶民の暮らしを探ったり、樋口一葉の日記から明治時代の長屋の生活や家賃、当時の作家の原稿料などを探ったりして長屋の日常生活を考証しています。

また、原作小説や脚本家・演出家の方たちが加えたフィクションの場面についても、そのフィクションが成立する可能性があることを、当時の様々な記録を基に検証してから、その場面は「アリ」なのか「ナシ」なのか意見を伝えていきます。もちろん、男女逆転大奥やタイムスリップなど、ドラマの根幹となるようなフィクションには手を付けられません。その場合でも、大奥における将軍の生活やタイムスリップした先の時代の人々の生活などは、前述したように、できるだけ史料や記録に基づいて「リアリティ」のある場面となるように努力しています。

お答えします

上梓しました

本学教員の単著、共著を紹介します。

『地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす』

教授 三木 潤一（経営コース）

今回、中央経済社から刊行された水野敬三（編著）『地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす（関西学院大学叢書46）』は、東北公益文科大学で2015年から親交のある経済学研究者と開催している「『公益学+経済学』合同ワークショップ」と題する研究報告会を契機として、関西学院大学産業研究所 共同研究プロジェクトに採択された研究の成果をまとめたものです。

本書は、筆者を含めた7名による共著で、筆者は、第4章「地域振興に資する観光資源の管理・運営—ケーススタディに基づく理論分析」（単著、81-99頁）、第5章「観光客の移動経路に基づく中心性指標の検討—山形県酒田市を事例として」（共著、101-124頁）を

執筆しています。

第4章では、立山黒部アルペンルートと城崎温泉を例とし、コモンプール財としての観光資源の管理・運営に関し、ゲーム理論により考察しています。第5章では、山形県酒田市の観光アンケート調査結果をネットワーク理論に応用し、観光客移動経路の特性を分析しています。

本書により、経済学的視点から地域活性化策について考えていただけると幸いです。

（中央経済社、190ページ、4,000円）



教員の新著

一流体験合宿プログラム

都内で3年ぶりに実施

学生が世界や日本を代表する一流の人物や仕事に触れ教養を高めることを目的とした「一流体験合宿」プログラムを本学後援会よりご提供いただいています。コロナ禍で中断していましたが、3年ぶりの研修を2月2日（木）～5日（日）の3泊4日にて東京都内で実施しました。

上野隆一後援会会長にもご同行いただき、「若い時に一流のものと触れて感性を磨くことは、これからの人生において必ず糧になる」とエールをいただきました。

参加した学生からは、「物事を多角的に見ること、俯瞰的にとらえることが大切だと学んだ」「相手のことを第一に考え、プロ意識を持って働ける人になりたい」といった感想が寄せられました。

（地域共創センター主査 進藤啓）



研修日程

- 1日目 ▶ 庄内空港→羽田空港  
ANA BLUE BASE（訓練場）見学  
ホテル椿山荘東京にてテーブルマナー研修
- 2日目 ▶ 国立東京博物館 見学
- 3日目 ▶ ANA BLUE HANGER（機体整備場）見学=写真  
有明四季劇場にて劇団四季「ライオンキング」鑑賞
- 4日目 ▶ 日本経済新聞社 本社で講話  
羽田空港→庄内空港

地域・学生活動

# 「プラントハンター」連続講座

## ——鶴岡タウンキャンパス3者初の連携企画

本大学院と鶴岡市(致道ライブラリー)・慶應義塾大学先端生命科学研究所の3者連携企画の第一弾として「西洋と日本の『プラントハンター』が描いた夢」の連続講座を、大学院ホールを会場に開催しました。

2023年3月14日には第1講として「西洋の



プラントハンター」をテーマに本学の遠山茂樹名誉教授が登壇しました＝写真。

また3月21日には第2講として「『らんまん』モデル牧野富太郎の生涯」をテーマに門松秀樹准教授(現

在は教授)が講演しました。

Plant hunterとは「植物探検収集家」のことで、探検家explorer、植物学者botanist、収集家(収集人)collectorの三つの顔を持つとのこと。遠山名誉教授からは主に18~19世紀にプラントハンターを派遣した民間会社やキュー王立植物園などのエピソードを絡めながら、植物収集家が果たした功績などを講義していただきました。また令和5年度NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」のモデルである牧野富太郎について年譜を紐解きながら、この番組の時代考証を担当する門松先生からお話いただきました。身近な植物と人、世界の繋がりに思いを馳せる時間でした。

(大学院事務室長 浦山恭子)

### データで見る公益大

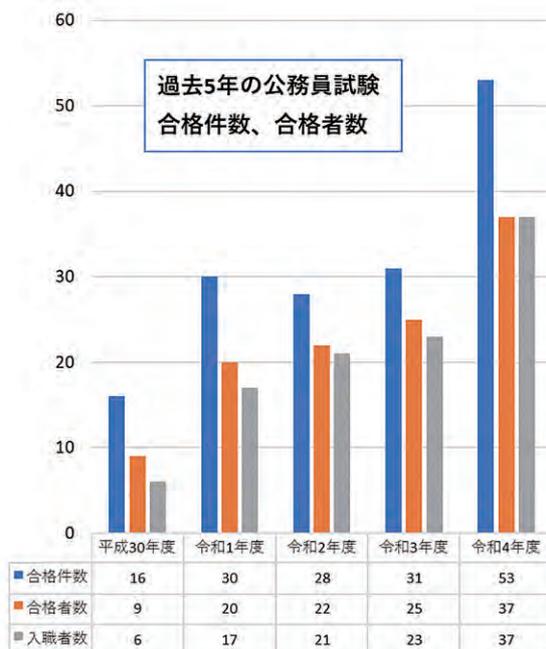
## 公務員合格者が過去**最高** ~ 2022年度

本学における公務員試験の合格件数は、第1期生から2023年3月卒業の第19期生までの累計で345件となっています。とくに過去5年間を見ると着実に増加しており、19期生は山形県職員3人を含め、合格件数、合格者数とも過去最高を更新しました。

増加傾向が続いている理由としては、公務員志望者の多くが本学で開設している公務員講座を受講するなど、合格のための勉強に継続的に取り組んでいることが挙げられます。さらにゼミ担当教員とキャリア開発センター職員が連携し、学習方法の指導や面接カードの添削、模擬面接などを通じて、幅広く試験対策を支援していることが成果につながっています。

公務員試験を突破するには、並々ならぬ努力が必要です。これまで合格した卒業生は、自分の夢を叶えるために惜しみなく勉強に励み、栄冠を勝ち取ったものです。

(キャリア開発センター就職部長 池田裕)





## 酒田港のクルーズ船 寄港が再開しました

2023年4月、酒田港に3年半ぶりとなる外国船籍のクルーズ船4隻が相次ぎ寄港しました。本学学生はボランティアスタッフとして、歓迎イベントのサポートやオプションツアーのアテンドを担当しました。



東北公益文科大学

Tohoku University of Community Service and Science

<https://www.koeki-u.ac.jp/>

**編集後記** 「脱コロナ」が定着し、大学は素顔の日常を取り戻しています。教室内ではひびを突き合わせた活発な議論があり、外に出るサークル活動も本格的に動き出しています。今号では再始動、そして新たな歴史を積み上げていく本学の姿をお伝えします。(加藤)

**編集スタッフ** 加藤嘉明(編集長、特任教授)、温井 亨(表紙デザイン、教授)、張 紅(助教)、進藤 啓(地域共創センター)、小野田栞奈(同)

**表紙イラスト** 阿部留依さん(本学卒業生)

## 「公益大ニュース」10号 2023年8月発行

発行者：学校法人東北公益文科大学 〒998-8580 酒田市飯森山3丁目5番地の1  
Tel : 0234-41-1115 Email : kyoso@koeki-u.ac.jp(地域共創センター)